

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	My Stepジュニア都島教室		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		～ R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	R8年2月1日		～ R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの状況に応じた個別支援計画を作成し、職員間で共有しながら支援を行っていること。	アセスメントや日々の観察を基に個別支援計画を作成し、支援開始前後の打合せや記録を通して職員間で情報共有を行いながら支援を実施している。	モニタリングや職員間の情報共有を継続し、子どもの状況や保護者の意向を踏まえた支援内容の見直しを行いながら、より適切な支援の提供を図っていく。
2	保護者との連絡や相談対応を通して、子どもの状況や課題について共通理解を図る体制が整っていること。	連絡や面談等を通して子どもの様子を共有し、保護者からの相談や意見にも適切に対応できるよう努めている。また、支援内容についても丁寧な説明を行っている。	保護者との情報共有を継続し、相談しやすい環境づくりを進めるとともに、家庭と連携した支援の充実を図っていく。
3	安全管理や記録、個人情報の取扱いなど、運営に関する基本的な体制が整備されていること。	支援記録の作成や職員間の情報共有を行うとともに、事故防止や安全管理、個人情報の取扱いについても職員間で確認しながら支援を行っている。	安全計画や各種マニュアルの見直しを行い、職員への周知や研修を通して安全管理体制のさらなる強化を図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間帯や利用状況によって、職員配置が十分でないと感じる場面があること。	利用児童数や時間帯によって支援体制に差が生じることがあり、職員数や配置のバランスが課題となっている。	利用状況を踏まえた職員配置の見直しや、職員間の連携強化により、より安定した支援体制の確保に努める。
2	アセスメントの方法や専門用語について、職員間で理解に差がみられる点。	アセスメントツールや評価方法について、十分な共有や研修の機会が不足している可能性がある。	アセスメントの考え方や活用方法について職員間で共有し、研修やミーティングを通して共通理解を図る。
3	地域との交流や保護者同士の交流機会が少ない点。	学習支援を中心とした事業形態であるため、地域交流や保護者交流の機会を設けることが少ない。	事業所の特性を踏まえながら、情報共有や保護者交流の方法について検討し、可能な範囲で交流の機会づくりを検討していく。